

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立三瓶高等学校

評価実施日		平成31年2月19日 (火)	
委員	氏名	所属等	備考
	竹崎幸仁	学校評議員	
	朝井秀幸	学校評議員	
	中須賀敏幸	学校評議員	
	豊島辰一	学校評議員	
	高橋ゆり	学校評議員	
	兵頭弘	学校関係者評価委員	
	宮本光靖	学校関係者評価委員	
	清家剛	学校関係者評価委員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p><b>1 学校運営等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域に密着した学校、地域に貢献できる学校づくりができています。特に、西日本豪雨災害後の野村地区への復興ボランティア活動や修学旅行での災害募金活動等をはじめ、地域イベントにおける様々なボランティア活動で、多くの成果をあげています。</li> <li>○ 地域と連携した、「かんなフラワー」に関する諸活動やジオガイド、「銀ちゃんの仮想大賞」での商品開発・販売やボランティア活動、三瓶商店街での「シャッターアート」制作などを通じて地域との協働を図ることができています。</li> <li>○ 三瓶高校の存続と生徒確保に向けて、活性化推進連絡協議会と協力し、地域の活性化と学校の魅力化に関する地域と一体となった努力の様子がかがえる。地域住民としても町内から高校を無くさないように頑張りたい。</li> </ul> <p><b>2 学習指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 皆勤率が近年低下傾向にある。今年度は2学期末現在で56%となっている。</li> <li>○ 学校アンケートでは「わかる授業を行うための努力・工夫が図られている」の教員の評価は厳しいが、生徒は「授業が理解できている」の評価が高くなっており、個に応じた学習指導に取り組んでもらっている。さらに継続して実践して欲しい。</li> <li>○ 家庭学習時間調査の結果は昨年と比べて伸びている。心を込めた丁寧な指導をお願いしたい。</li> <li>○ 中学生1日体験入学では48名の参加があった。体験後のアンケートの内容は好評であったが、本校への進学には結びついていない状況であるので、生徒確保に向けた、今後の方針やそのための工夫をお願いしたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに地域に密着、貢献できる学校づくりに努めたい。</li> <li>・災害ボランティア活動だけでなく、マニフェストにもあるように、地域行事等への生徒参加が可能な活動やその環境づくりに努めたい。</li> <li>・これからの三瓶高校の在り方を模索し、地域や保護者や生徒の目線に立って、そのニーズに応えるとともに、三瓶高校に入学したいと思えるような魅力ある学校にしたい。</li> <li>・体調管理に努め、毎日の学校生活が充実したものになるように目的意識を持たせたい。</li> <li>・小規模校のメリットを生かし、一人一人の生徒への個別指導の充実を図り、確かな学力の向上と生きる力を育む教育実践に努めたい。</li> <li>・予習・復習や課題学習を徹底させ、家庭学習時間の確保と生徒が学習内容を理解できるように努めたい。</li> <li>・学校説明会の機会や対象中学校を増やし、学校をアピールするとともに、全国募集も視野に入れた生徒確保に努めたい。</li> </ul>	

<p><b>3 生徒指導・安全指導・特別活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県総体で全ての運動部が出場し、全校生徒の 1/3 の生徒が参加したり、ソフトテニス部、陸上部が県で入賞するなど頑張っている。文化部でも部員が減少しているようであるが、吹奏楽部が他校との合同で大会や演奏会に参加するなど工夫がみられる。</li> <li>○ 豪雨時には学校にグラウンドの排水対策をしていたが、地域住民の安全確保がなされ感謝している。</li> <li>○ 今年は「奥地の海のかーにばる」が豪雨災害の影響で中止となったが、別の形で、沢山の生徒の皆さんが様々な地域イベントのボランティア活動に参加した。さらに、地域に密着した活動を継続してもらいたい。</li> <li>○ 保育園との交流学习をありがたく思っている。三瓶高校にならって「かなナフラワーのコサージュ作り」を取り入れた。三瓶高校の生徒が生き生きと生活しているのを見て、力を合わせていきたいと感じる。</li> </ul> <p><b>4 進路指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国公立大学へ進学する生徒も増えて、生徒や先生方の努力の結果が出ている。普通科である以上、進路保障が大切であると思うので、さらに日常の学習へのサポートを継続して欲しい。</li> <li>○ 就職については、就職後のミスマッチを防ぐため、応募前の職場見学に参加している。また 1 年生の段階からオープンキャンパスや学校見学を実施している。</li> </ul> <p><b>5 人権教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 来校時や街中でもさわやかな挨拶を生徒から受けるのは、とてもうれしいと住民が感じている。素直な生徒を育成し伸ばされていると感じる。</li> <li>○ 良好な人間関係づくりがなされていると感じる。</li> </ul> <p><b>6 保健・安全管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南海トラフ大地震が来ると言われているが、三瓶高校の二階まで津波が到達するシミュレーションが出ている。「送迎時の被災」を防ぐためにも、学校での防災教育や適切な対応をして欲しい。</li> </ul> <p><b>7 事務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 迅速かつ適正な事務処理がなされており、節電対策としての体育館や教室等の LED 照明取替工事などスムーズに実施された。また生徒の要望に応え、ストーブの設置など教育環境の改善に取り組んでいる。</li> </ul> <p><b>8 三瓶高校活性化推進について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒募集のために、三瓶中学では少人数の班に分かれて質疑応答ができる学校説明会を実施している。</li> <li>○ 全国募集に向け、住居のお願いと地域の方にしたところ、下宿協力 2 件の申し出があったのは良いと思う。</li> </ul> <p><b>9 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 100 周年に向けた取組について、どのような事業が計画されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動部・文化部ともに、少ない部員ながら各部が努力している。他校との連携も視野に入れ、生徒に十分な経験を積ませたい。</li> <li>・ 文化部については、地域との連携を深め、地域文化の継承・発展にも尽力したい。</li> <li>・ 地域の行事に参加することで、生徒自身が地域の良さを理解し、郷土を愛する心を育てていきたい。</li> <li>・ 2 年生の総合学習の地域の特色や地域人材を生かした、かなナフラワー、ジオガイド、ジオ研究、邦楽、文楽の五つのグループによる交流学习をさらに発展させたい。</li> <li>・ 地域協働に関わる取組と連動して、地域課題発見解決型学習の推進など、生徒の進路保障に繋がるサポートを行いたい。</li> <li>・ 進学・就職ともに将来やりたい職業に就くために、高い目標が持てるよう、1 年次より生徒や保護者への進路啓発を充実させたい。</li> <li>・ 学校教育全体を通して、一人一人を大切にしたい心を含めた指導や人権教育を実践し、自立した社会人の基礎を身に付けさせたい。</li> <li>・ いじめを許さない、いじめをつくらぬ環境づくりに努めたい。</li> <li>・ 総合学習に「防災」をテーマのグループを作り、地域の防災について研究させ、地域との交流学习を計画したい。</li> <li>・ 環境整備と安全管理を徹底し、修繕箇所の早期発見、早期対応を図る。</li> <li>・ 市や地域と協力体制を整え、生徒を確保し、三瓶高校存続と魅力化につなげたい。また、地域外からの生徒の受け入れ準備を加速し、生徒の全国募集につなげていきたい。</li> <li>・ 2020 年の創立 100 周年事業に向け、記念事業実行委員会を中心に事業を進めていきたい。</li> </ul>
---	--